

あさみどりの会 令和4(2022)年度事業報告

新型コロナウイルスとの共存も3年を超え、さまざまな事業活動が引き続き制約を受ける一方で、もはや「with コロナ」は将来にわたっても前提として、このことを念頭にした運営の在り方がより定着してきていると感じさせられている。そんな状況下ではあったが、11月に法人設立50周年という大きな節目を迎え、東京第一ホテル錦にて「50周年記念フォーラム・あさみどり」を開催することができた。本来であれば多くの関係者の参集の下で盛大に開催したかったところ、コロナ感染の懸念から参加者を制限せざるを得なかったことは残念であった。しかし、久しぶりに集合してのイベントとなり、法人の事業活動の基盤となった糸賀一雄氏の思想に改めて思いをはせる機会として、公益財団法人 糸賀一雄記念財団理事長、辻哲夫氏の記念講演を拝聴する機会を得られたことはよかった。

公益を目的とする事業においては、コロナの影響により引き続き各所の祭りをはじめとする集客イベントや療育キャンプなどは、今年度も開催が叶わなかった一方で、「第59回心身障がい問題を考える集い」のZoomウェビナーによる開催や1回のみであったが、ボランティアスクールの体験プログラムを3年ぶりに集合しての開催など、現況下での可能な方法を模索しながら実施することができた。コロナの脅威はだいぶ薄くなり、新年度5月の連休明けには感染症法上の位置づけが2類から5類に引き下げられることを受けて、今後も感染予防には十分留意しながらも、各事業所とも従来の事業活動を少しずつでも回復させていくことが当面の目標になろう。あさみどりの伝統として大切に紡いできた人と人との出会い、かかわり、繋がり、絆といったものを取り戻していく活動を行っていただけることを願っている。

1 組織強化

(1) 理事会

- ①開催日時 令和4(2022)年5月24日(火) 午後6時00分から8時00分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 島田修三 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
欠席理事 椿 泰廣
出席監事 菅沢 豊 渡邊 勝
出席施設長 田中雅樹
オブザーバー 村上正城顧問税理士
決議事項 第1号議案 令和3(2021)年度事業報告について
第2号議案 令和3(2021)年度決算について
第3号議案 諸規程の新設及び改定について
第4号議案 業務管理体制における業務執行理事の選任について
第5号議案 評議員会の開催及び提案事項について
報告事項 報告第1号 評議員選任・解任委員会の報告について
報告第2号 その他
- ②開催日時 令和4(2022)年11月22日(火) 午後6時00分から7時00分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 椿 泰廣 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
出席監事 菅沢 豊 渡邊 勝
欠席理事 島田修三
出席施設長 田中雅樹 鷺見まち子
決議事項 第1号議案 令和4(2022)年度予算の一部補正について
第2号議案 諸規程新設及び改定について
第3号議案 評議員会の開催について
第4号議案 施設長の選任について
報告事項 報告第1号 あらくさ作業室事務所改修工事について
報告第2号 コロナ感染の経過報告
報告第3号 権利擁護に係る指針等の整備について
報告第4号 令和5年度役職員の配置について
- ③開催日時 令和5(2023)年3月21日(火) 午後6時00分から8時00分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム

出席理事	後藤秀爾 椿 泰廣 島田修三 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
出席監事	菅沢 豊 渡邊 勝
出席施設長	田中雅樹 鷺見まち子
オブザーバー	村上正城顧問税理士
決議事項	第1号議案 令和4(2022)年度予算の一部補正について 第2号議案 令和5(2023)年度事業計画について 第3号議案 令和5(2023)年度予算について 第4号議案 諸規程の改定について 第5号議案 施設長の人事について 第6号議案 評議員会の開催及び提案事項について 第7号議案 会社役員賠償責任保険の更新について
報告事項	報告第1号 あらくさ作業室事務所改修工事について 報告第2号 業務執行に係る報告 報告第3号 その他

(2) 評議員会

- ①開催日時 令和4(2022)年6月8日(水) 午後6時00分から7時45分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席評議員 鵜飼信孝 青山達雄 坪内勝彦 森 弘典 野々山郁 渡邊幸良 江部眞弓
堀美和子
出席監事 渡邊 勝 菅沢 豊
出席理事 追分伸夫 山本智恵
欠席理事 島崎徹也
決議事項 第1号議案 令和3(2021)年度事業報告について
第2号議案 令和3(2021)年度決算について(監事監査報告含む)
第3号議案 役員等報酬規程の改定について
報告事項 報告第1号 諸規程の新設及び改定について
報告第2号 業務管理体制における業務執行理事の選任について
報告第3号 その他
- ②書面審議 評議員会決議及び報告のみなし日 令和4(2022)年11月30日(水)
提案事項 第1号議案 令和4(2022)年度予算の一部補正について
報告事項 報告第1号 諸規程の改定について
報告第2号 あらくさ作業室事務所改修工事について
報告第3号 コロナ感染の経過報告
報告第4号 権利擁護に係る指針等の整備について
報告第5号 令和5年度役職員の配置について
評議員同意書 鵜飼信孝 青山達雄 坪内勝彦 森 弘典 野々山郁 渡邊幸良 江部眞弓
堀美和子
- ③開催日時 令和5(2023)年3月29日(水) 午後6時00分から8時00分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席評議員 青山達雄 坪内勝彦 森 弘典 渡邊幸良 江部眞弓 堀美和子
欠席評議員 鵜飼信孝 野々山郁
出席理事 島崎徹也 追分伸夫 山本智恵
出席施設長 田中雅樹
決議事項 第1号議案 定款変更について
第2号議案 令和4(2022)年度予算の一部補正について
第3号議案 令和5(2023)年度事業計画について
第4号議案 令和5(2023)年度予算について
報告事項 報告第1号 諸規程の改定について
報告第2号 令和5(2022)年度職員体制と施設長の人事について
報告第3号 業務執行に係る報告
報告第4号 その他

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日時 令和4(2022)年4月20日(水)午後6時30分から7時30分
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席外部委員 田中善美 堀 智二
出席法人委員 菅沢 豊(法人監事) 鷺見まち子(法人職員)
欠席外部委員 村地裕子
議事事項 第1号議案 評議員の解任について
第2号議案及び第3号議案 評議員の選任について

(4) 施設長会<全19回開催>

*あさみどりの風との合同 4月7日、6月14日、7月12日、8月18日、9月8日
10月24日、3月8日(計7回)
*会のみ 5月12日、11月8日、12月8日、2月14日、3月14日(計5回)
*臨時 5月17日、7月24日、8月4日、9月25日、10月7日、10月30日
11月10日(計7回)

(5) 施設長・主任会<全3回開催>

4月20日、7月14日、1月26日

(6) 職種別部会

*支援スタッフ部会：4回開催
*共同生活援助事業所スタッフ部会：11回開催
*事務担当者部会：2回開催

(7) 委員会

*ボランティア育成委員会：21回開催 (Vo.サークル連絡協議会、Vo.スクール企画会議含む)
*療育研究活動委員会：14回開催
*広報委員会：5回開催

(8) プロジェクト会議

CA会議(Challenged Approach・障害者雇用準備会議)：4回開催

2 事業

(1) 社会福祉事業 (各事業所報告参照…P9～)

(2) 公益を目的とする事業

ア) 療育援助事業

既存の諸制度の網の目からもれた部分等で、援助を必要とする障害児(者)および家族・団体への援助を行い、家庭療育・地域療育の促進をはかるため次の事業を実施した。

① 療育相談

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	9	3	14	2	5	5	13	10	9	3	4	5	82
べにしだの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワークス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	9	3	14	2	5	5	13	10	9	3	5	6	84

①-2 年齢別内訳

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6歳未満	9	3	14	2	3	5	13	10	9	3	4	5	80
6歳以上	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
計	9	3	14	2	5	5	13	10	9	3	4	5	82

② 在宅心身障害児の家庭療育援助および各地療育グループの援助

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	4	8	14	12	8	2	4	19	17	2	5	7	102
対象人数	0	58	104	145	0	0	0	147	131	8	12	20	625
援助者数	4	30	76	65	134	5	63	108	283	8	54	42	872

【療育グループ活動状況（8団体）】

グループ名	主 な 活 動	代表者
同朋大学 心身障害福祉研究会	あさみどりの会等における療育援助活動	宮本泰地
新池子どもクラブ ボランティア	地域の小中学生及び障害児を対象とした療育援助活動	平野飛鳥
南山大学 ボランティアサークル	愛知県赤十字血液センター献血活動・あさみどりの会等における療育援助活動	寺田結美
椋山女学園大学 うえるかむ	あさみどりの会等における療育援助活動	上野真樹
らいぶ遊	手作りバリアフリーライブイベントの企画、開催	種田勝利
なないろコンサート実行委員会	なないろ（福祉）コンサートの企画、開催	丹下 靖
ボランティアスクール企画委員会	ボランティアスクール（全5講）の企画、開催	伊東宏崇
ジャイアントステップス	利用者主体の余暇及び社会参加活動の支援	中野則恵

③ 療育グループ

③-1 学童療育グループ（しんいけ子どもクラブ等でのフォローを含む）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	11	15	13	13	9	11	14	11	9	12	9	11	138
参加人数	67	80	67	57	29	47	63	43	38	56	60	41	648
ボラ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③-2 乳幼児療育グループ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	6	6	10	6	0	8	7	8	6	6	6	4	73
参加人数	55	59	97	68	0	101	91	119	79	105	95	87	956
ボラ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 母親研修会（心身障害についての基礎学習） ※コロナ感染防止のためすべて中止

イ) ボランティア育成事業

社会人及び学生を対象に、福祉に対する啓発と参加を意図した基礎的、専門的学習の機会を設け、ボランティア実践への方向づけを行うとともに、すでに実践活動に入っているサークル及び個人への支援を行った。今年度も新型コロナウイルス感染の拡がりから、オンラインでの開催を中心とし、内1回はフィールドワークの講座を実施した。

① ボランティア・スクール（年1回、中日新聞社・中日新聞社会事業団共催）

第78回（5講座 受講者107名）※コロナのため1講座以外はオンラインで開催

月 日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
10 : 12	お互いの本音を知り、 ボランティアを考える	浅野 環 （災害ボランティアちくさネットワーク代表） 鈴村ユカリ （東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや 語り部ボランティア）	21
10 : 19	住職とボランティア ～ボクとお寺と地域食堂～	徳山隆秀（新潟県上越市 真宗大谷派西念寺住職）	24
10 : 26	ボランティアって何？	奥田太郎（南山大学 社会倫理研究所教授）	25
10 : 29	一人の“ちょっと”が、大きな一歩 ～みんなでツキを拾おう～	檀浦聖徳 （特定非営利活動法人 green bird 名古屋チーム代表）	19
12 : 10	ボランティアについて考える	伊東宏崇（社会人ボランティア） 田中雅樹（れいんぼうワークス所長）	18

② ボランティアグループの育成（サークル助成金）

月 日	助成団体	活動回数	助成金額
4 随 時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椋山女学園大学うえるかむ なないろコンサート実行委員会 ジャイアントステップス	療育援助事業及びボラ ンティア育成事業に計 上	各サークル 20,000 円
前期			
10 随 ～ 時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椋山女学園大学うえるかむ なないろコンサート実行委員会 ボランティアスクール企画委員会 ジャイアントステップス	療育援助事業及びボラ ンティア育成事業に計 上	各サークル 20,000 円 ※ボランティアスクー ル企画委員会は 30,000 円
後期			

③ なないろコンサート（会場を借りての開催は中止。一部地域マルシェにて野外での活動）

④ あさみどりボランティアサークル連絡協議会（オンライン）

	会議内容	出席者	参加人数
4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・あさみどりの会のボランティアについて ・ボランティアサークル、個人ボランティアの紹介 ・法人各事業所年間行事予定の案内 ・ボランティアスクールの案内 ・情報交換 	団体 3名 個人 1名 法人職員 6名	10

⑤ ボランティア受入状況（行事参加等も含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	1	6	9	37	1	12	5	4	3	6	14	4	102
べにしだの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あらくさ作業室	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	1	7
れいんぼうワークス	1	0	88	1	5	0	0	57	4	0	2	0	158
計	2	6	97	39	6	13	6	61	7	6	19	5	267

⑥ 学校実習・体験実習（障がいのある方等の受入れは除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	0	0	44	40	0	48	0	10	46	0	8	32	228
べにしだの家	34	11	0	67	30	82	33	40	33	29	35	39	433
あらくさ作業室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12
れいんぼうワークス	0	0	0	0	0	16	17	46	9	0	0	0	88
計	34	11	44	107	30	146	50	96	88	29	43	83	761

ウ) 地域啓発事業

オンラインも駆使しながら福祉活動への参加や研修、学習の機会を提供し、コミュニティ・ケアの担い手となる人々の輪が広がっていくよう働きかけを行った。

① 機関誌『療育援助』の発行(月1回) □発行回数 12回 □発行部数 毎回1,000部

配布数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
郵送数	320	321	320	325	325	324	325	329	326	327	327	327	3,896
メール配信	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	1,416
手渡数	562	561	562	557	557	558	557	553	556	555	555	555	6,688

②第59回心身障害問題を考える集い（オンライン開催）

月 日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
7 2	それぞれが元気になる社会を妄想してみた	國信綾希（長久手市 市長直轄組織 地域共生推進監） 浦川直人（社会福祉法人拓く 法人本部長） 御代田太一（社会福祉法人グロー 法人事務局） 鈴村萌芽（株式会社 musbun 代表取締役） 渡邊裕介（社会福祉法人あさみどりの風相談支援専門員）	106

③第15回フォーラムあさみどり（法人設立50周年記念）

月 日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
11 27	未来に伝えていきたい糸賀一雄の心	辻哲夫 （糸賀一雄記念財団 理事長）	127

- ④ れいんぼう祭 利用者のみ事業所内で「みんなのれいんぼう祭」として開催
 ⑤ しんいけ盆おどり コロナのため中止
 ⑥ さわらび運動会 園児のみどんぐり広場で開催
 ⑦ べにしだ祭 コロナのため中止
 ⑧ さわらび祭 園児及び学童を対象に園内で開催
 ⑨ しんいけ子どもクラブ

月 日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数
5 22	レクリエーション	28	4
6 19	出かけてみよう	24	8
7	（コロナのため中止）		
10 23	作ってみよう	24	5
12	（コロナのため中止）		
2 26	おたのしみ会	24	6

⑩施設の地域解放

施設	利用団体	回数
さわらび園	町内会	1
べにしだの家		0
あらくさ		0
れいんぼうワークス		0

⑪らいぶ游（年間1回／参加ボランティア：17名）

月 日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数 【出演者含む】
8 27	バリアフリー音楽会	0	17

※ライブ配信限定のため参加者はボランティアのみ（スタッフ・出演者）

⑫事業所見学会（障がいのある方の生活を支える支援者養成講座）

月日	テーマ	場所・講師	参加人数
8 27～9/3	グループホーム見学会・説明会	べにしだ共同生活援助事業所	18
12 7, 10	グループホーム見学会・説明会	れいんぼう共同生活援助事業所	7
2 21, 23	グループホーム見学会・説明会	べにしだ共同生活援助事業所	10
3 2, 4	グループホーム見学会・説明会	れいんぼう共同生活援助事業所	12

エ) 野外活動事業（詳細は事業所報告参照）

あさみどりの会研修所「郡上山の家」の運営を通して、人間と自然とのふれあい、合宿による人間同士のふれあいを通して真の人間性の回復をはかった。

さわらび園親子療育キャンプ(中止) / あらくさ作業室山の家合宿(9月)
れいんぼうワークス山の家合宿 / 療育グループ親子療育キャンプ(中止)
新池子どもクラブ・サマーキャンプ(中止) / 学童合宿(中止)

オ) 家族の支援活動

障害をもった子どもの生涯の幸せを願って、計画的に活動する保護者のグループを支援した。5月28日後援会役員会にて各グループの情報交換を行った。又、各事業所で「きょうだい会」年2回（うち1回は成人施設合同）のうち合同のきょうだい会については新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(3) 職員研修

①法人全体研修

ア) 4月9日(土) <オンライン>

内容：講義「権利擁護について」 追分伸夫専務理事

講義、グループワーク「共感することと理解すること」 後藤秀爾理事長

イ) あさみどりグループ職員研修

内容：実践研究発表（れいんぼう、わらび、さわらび）

各事業所単位で、状況に合わせて実施<オンライン含む>

②階層別研修

ア) 新任職員研修（新規採用職員対象）

7月9日(土) <オンライン> 8名参加 内容：グループワーク「私の充実度グラフ」 他

イ) 初級職員研修（2～3年目職員対象）

10月15日(土) <オンライン> 10名参加 内容：インシデントプロセス法による事例検討

ウ) 中級職員研修（4～10年目職員対象）

1月7日(土) <オンライン> 7名参加

内容：講義「スーパービジョンの基礎を学ぶ」 講師 同朋大学社会福祉学部教授 下山久之氏

エ) リーダー職員研修（11年以上職員対象）

11月9日(水)16日(水) <オンライン> 12名参加

内容：グループセッション「私とあさみどり」

③インシデント・プロセス研修 さわらび園にて年4回開催

講師：小野宏氏（精神科医） / 山田敦朗氏（名古屋市立大学大学院医学博士）

参加対象人数：10名

④宿泊型療育実地研修 <新型コロナウイルスの影響により中止>

⑤ホーム新人世話人研修（4月23日 べにしだの家 12人参加 講師2名 スタッフ5名）

内容：グループホーム及び障がい（特性含む）について。ホームでの業務について。

てんかん発作について。

⑥発達障害対応研修

○講師：小林信篤氏（横浜やまびこの里）

れいんぼうワークス：6月24日・10人参加 / 10月1日・15人参加 / 1月28日・19人参加

べにしだの家：10月1日・5人参加 / 1月28日・6人参加

⑦事務担当者研修

9月29日(木) 9名参加 内容：月次報告書の読み方、他 村上正城 顧問税理士

⑧施設長・主任研修

7月14日(木) <オンライン> 10名参加

内容：ハラスメント研修 加古朗 顧問社労士

⑨各施設におけるその他の研修活動 各事業所報告等参照

⑩外部研修への参加 各事業所報告等参照

⑪社会福祉士・介護福祉士の資格取得の奨励

(4) 苦情処理状況

法人経営の各施設・事業の提供する福祉サービスに対する苦情処理については、平成13年施行の「福祉サービスに関する苦情解決規程」により処理することとしているが、その場で解決するものについてはこの規程を適用せず、関係者に伝達し協議する必要があるものは「苦情処理票」によって処理することとしてきた。令和4年度に、苦情処理票により処理をした件数は下記のとおりである。

		さわらび	べにしだ	れいんぼう
苦情処理票等により処理した件数		1	1	0
申出者	利用者本人	0	0	0
	利用者の家族	0	0	0
	近隣住民・その他	1	1	0
内容	利用者に対する職員の対応	0	0	0
	利用者に対するサービス向上	0	0	0
	利用者の生活環境の改善	0	0	0
	施設・事業運営に対する不満	1	0	0
	その他	0	1	0
方法	職員・施設長と解決策を協議	0	1	0
	要望どおり解決できないことを説明	1	0	0
結果	解決の方法・内容に納得した	0	0	0
	解決の方法・内容に不満がある	1	0	0
	処理結果を職員に周知する	0	1	0

苦情処理した件数は、さわらび園1件、べにしだの家1件、れいんぼうワークス0件であった。

各施設とも苦情処理票によらない苦情についても職員に周知し、同様の問題が起きないように対処していくとともに、ヒヤリハット等の取り組みも継続していきながら、職員一人ひとりの意識向上を図っている。

1. 総括

【さわらび園】

令和4年度は、コロナ禍となって3年目の年度となり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を継続しながらも、年度後半には、一部の対策を緩和して事業運営を行った。

児童発達支援事業については、年度内に保護者の転勤等に伴って数名の園児の入れ替わりがあったが、年間通してほぼ定員を満たしての受け入れを行った。療育体系としては、年間を通して時差登園を継続し、年度前半の行事については2回に分けて行ったが、運動会以降の行事は、園全体で行う形式に切り替えた。運動会は、3年ぶりに隣接するどんぐり広場を借りて、園児およびその家族を対象に開催することができた。宿泊を伴う行事は、年間計画では療育キャンプも含め部分的な再開を予定していたが、キャンプについては直前にコロナの全国的な感染急拡大により、中止とした。秋の宿泊療育については、計画通りに実施をした。保護者のプログラムは、母親のグループカウンセリングや研修会、父親参観日や研修会について、内容や時間などを工夫して行った。

保育所等訪問支援事業は、さわらび園内および訪問先双方のコロナ関連でのキャンセルも一定数あったが、基本的には継続した訪問支援を行った。また、訪問先として、小学校への訪問が徐々に増えており、新規の訪問先も広がってきている。

障害児相談支援事業は、学年が上がってきた児童について、保護者への丁寧な説明と了解を得ながら、セルフプランや地域の相談支援事業所への移行を進めた。

療育グループ事業は、就園前のりとるぐるうぶについては、昨年度から引き続き2部制とし、療育時間を短縮しての対応を行った。学童療育を含めた卒園児のアフターケアは、人数や内容を工夫しながら活動を継続した。新たな動きとしては、さわらび園の行事（夏祭り、さわらび祭）へのボランティア体験として卒園児の活動を位置づけ、園児と卒園児が共に参加する行事としての企画を行った。

地域開放としては、盆踊りやさわらび祭について、地域に向けたイベントとしては引き続き見合わせた。規模や内容を縮小して園内で開催した。地域とのつながりという点では、3年ぶりに参集での町内会が開催されたことによって、部屋の貸し出しを行った。

全体的には、各事業共に、継続的な発達支援および家族支援を意識しながら事業運営の工夫を重ねた一年であった。

【べにしだの家】

コロナ感染については、令和5年度に入ってから感染対策の徹底に努めていたが、6月と11月にクラスターが発生し、生活介護を休業する事態となった。6月は利用者18名、職員スタッフ11名が陽性、利用者13名が濃厚接触者となり、22日間生活介護を閉じることとなった。11月は利用者9名、職員スタッフ8名が陽性となり、10日間生活介護を閉じた。しかし、幸いなことに利用者にも職員スタッフにも重症者は出ず、職員スタッフの献身的な対応と地域医療機関との連携の賜物であったと思う。

生活介護については、前年度からの懸案事項であった作業室再編と環境整備、新たな日中活動の創設等に向けて動き出していった。コロナ対応やクラスターの発生によって、取り組みが滞るところもあったが、年度末の2月には第二作業室の環境整備も行い、新年度に向けて基本的な体制を整えることができた。

入所支援については、市とのホーム化に向けた協議を行ってきっていたが、コロナ禍も相まって夏以降協議そのものがストップしていた状況がある。また、年度途中で職員の退職もあり、特に北棟（男子棟）の職員体制が厳しい状況が続いている。そのため、短期入所については去年の夏以降休止を余儀なくされた。ただ、利用者の方達については、年間を通して情緒が安定し穏やかに過ごされてきている状況もあり、厳しい職員体制であっても、支援そのものは個別化も含めて堅調であった。

共同生活援助については、令和3年度から続いていた職員体制の厳しさが、コロナが落ち着き始めた年度後半にかけて、学生アルバイト等の有期契約職員の増加もあり、正規職員が少しずつコーディネーションに専念できる環境が出来つつある。

あらくさ作業室については、令和5年度独立に向けて体制を整えてきたところであるが、利用者がなかなか集まらず、目処としていた15名を確保できなかったため、令和6年度独立に目標設定を修正した。

【れいんぼうワークス】

コロナ感染については、令和4年度に入ってから感染対策の徹底に努めていたが、5月と8月、10月に集団感染が発生した。5月は利用者2名、職員スタッフ1名、8月は利用者15名、職員スタッフ14名、10月は利用者4名、職員スタッフ1名が陽性者となった。特に8月のクラスターでは、法人内の他施設から応援派遣を依頼し、またあさみどりグループのわらびや愛知県福祉協会からも間接的な支援・協力を得ることができ、地域医療機関との連携のもと、職員スタッフの献身的な対応があったことで長期間に渡る感染対応・療養期間を乗り越えることができ、いずれも重症化する者はいなかった。その都度、感染対策・初動対応の振り返りを行い、感染対策の施設内研修の実施、備蓄用品の見直し、感染対策の強化・徹底に努めた。

全体として、コロナによる活動自粛を少しずつ緩和して行事の見直しを行った。昨年に引き続き「みんなのれいんぼう祭」と称して施設内イベントのお祭りを行ったが、ボランティアを広く受け入れ大学生を中心に17名が来所、イベントの充実を図ることができた。また、山の家合宿を1泊2日にして実施。事業計画では2班に分けて行う予定にしていた日帰り旅行をホーム毎にして実施し、一部のホームは1泊2日の旅行を行うことができた。外部講師の小林信篤氏を迎えた発達障害対応研修は年3回の内後半2回はリアルで実施。また、後藤理事長に来所して頂き、療育研修を実施、利用者支援を丁寧に検証し、個別化を図ると共に支援者としてのスタンスを磨くことができた。

ボランティアとの交流も、福祉と学生を結ぶサイト「musubun」を継続利用する中でイベントや行事だけでなく普段の活動に参加する学生が増えてきている。

生活介護事業においては、自然栽培パーティの活動に参加継続し、農福連携を更に推進。地域の小学生と高校生と共にさつまいもの植え付けから収穫を行う「さつまいもプロジェクト」を実施。春、秋共に児童・関係者を含め60余名の参加があった。また、野菜の販売経路として近隣事業所グループホームへ定期的に納品する機会を得た。室内作業では(株)服部とつながり、新たに旗折り作業が加わり安定した収入増に繋がった。11月にエアコンの入替工事と共に換気システムを設置。補助金を活用することができた。コロナ対策を取りつつも快適な作業環境を提供していくことができた。

共同生活援助事業所では、昨年に引き続き個別懇談を実施。週末ホーム利用体験は年2回を予定していたが、コロナ感染により予定以上に週末利用をしたこともあり、年1回へ変更。個々の家庭の状況に応じて日曜日の夕方からホーム利用するなど週末ホーム利用を計画的に利用される利用者の方が少しずつ増えてきている状況。

令和5年2月、グループホームにて夕方の支援中に有期契約職員による利用者の方への虐待事案が発生し、市へ通報。虐待認定され、県にも報告。事件が発生した後、聞き取り調査、両親への謝罪、家族会への報告、職員スタッフへの周知、虐待防止研修やアンケートの実施を行った。理事長を交えた施設長会を行い、当該職員の解雇という結果となった。今後の取り組みとして、なぜ虐待が発生してしまったのか検証を重ね、再発防止に向けて情報の共有を円滑に行い、風通しの良い施設運営、チーム作りを行なっていきたい。

2. さわらび園の事業状況

(1) 障害児通所支援事業

1) 児童発達支援事業（園児）

①利用状況

○年齢・男女別（中途退園・入園を含む）

学年齢	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	5	11	7	3	26
	女		2	4	2	8
計	5	13	11	5	34	34

○月初日在籍数・開所日数・利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	30	28	29	29	30	30	30	29	29	30	30	30	
日数	17	20	21	20	18	19	20	20	17	18	18	17	225
人数	383	467	489	414	269	473	509	403	363	419	453	410	5052

○主な障害 <ASD=自閉スペクトラム症>

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	17	4	21
ASD	2	2	4
知的障害	6	1	7
ダウン症	1	1	2
計	26	8	34

○通園区域別

名古屋市					
通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数
千種区	9	名東区	15	守山区	10

○発達状況 (K式発達検査結果より)

DQ	20以下	21～35	36～50	51～74	75以上
人数	1	4	11	12	4

②令和4年度新入園児状況<途中入園も含む>

○年齢・男女別

学年齢	2才	3才	4才	5才	小計	総計	
市	男	5	5	1	1	12	15
	女	0	1	2	0	3	
計	5	6	3	1	15	15	

○主な障害

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	10	2	12
ASD	1	1	2
ダウン症	0	1	1
計	11	4	15

③令和4年度卒退園児状況 (進路先・男女別)

進路先	特別支援学級	特別支援学校	保育園	幼稚園	児童発達支援センター	計	
市	男	2	1	4	1	1	9
	女	2	0	0	0	0	2
計	4	1	4	1	1	11	

④主な実施行事

4月		5月		6月	
5日	入園式	17日	春の遠足	18・25日	父親参観日
26・28日	子どもの日行事	23・27日	新入園児歓迎会	28日	健康診断
7月		8月		9月	
5・7日	七夕行事				
10月		11月		12月	
9日	さわらび運動会	4～5日	宿泊療育(せう・パンダG)	23日	クリスマス会
13日	第2期始業式	11～12日	宿泊療育(きりん・コアラG)		
27日	秋の遠足	22日	健康診断		
		26日	父親研修会		
1月		2月		3月	
27日	節分	11日	さわらび祭	4日	学習発表会
				17日	お別れパーティー
				19日	卒園式・母親送別会
				24日	第2期終業式

*誕生会は毎月、2グループに分けて実施。歯科検診は年9回実施。

*宿泊療育（夏）および親子療育キャンプは中止。

*母親研修会 年6回開催

<主な行事の参加状況>

ア) 宿泊療育<さわらび園にて実施>

○（夏） コロナの状況を踏まえて、中止

○（秋）参加状況

11/4（金）～5（土） 参加対象：ぞう・パンダG /参加園児：15名

11/11（金）～12（土） 参加対象：きりん・コアラG /参加園児：14名

イ) さわらび親子療育キャンプ コロナの状況を踏まえて、中止

⑤保護者の学習

○母親の学習

・母親グループカウンセリング（2グループごとの実施/10:15～11:45）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	2	6	7	3	0	4	4	7	5	4	4	3	49
延人数	23	58	67	23	0	35	41	70	34	29	39	32	451

*宿泊療育のビデオによるフィードバック、サポートブック作成学習会含む。

・その他：発達相談・個別相談実施

○父親の学習

・父親参観日：6月18日（土）25日（土）参加人数：20名 /療育参観及びグループ懇談

・父親研修会：11月26日（土） /参加人数22名

卒園児父親による体験談（平井氏・新納氏 /聞き手：島崎徹也）

⑥その他

・卒園児のアフターケア（訪問） 特別支援学級5名 特別支援学校1名

2) 保育所等訪問支援事業

<利用状況>

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		3才	4才	5才	6才	9才	計
市	男	3	4	3	2	1	13
	女	1	1	0	0	0	2
計		4	5	3	2	1	15

○月別訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	5	16	20	15	6	21	21	22	12	21	23	20	202
家庭連携	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
事業説明	3	2	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	10

○訪問先

訪問先	保育園	幼稚園	小学校
箇所数	3	5	3

(2) 障害児相談支援事業【利用状況】

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
市	男	5	12	10	8	8	9	13	8	8	2	0	0	83
	女	0	4	5	3	3	4	2	4	6	0	2	0	33
計		5	16	15	11	11	13	15	12	14	2	2	0	116

○月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本計画	60	5	7	4	10	4	5	4	2	1	7	4	113

モニタリング	12	10	5	17	17	11	0	4	2	1	2	4	85
基本相談	12	8	8	9	1	3	4	4	3	4	3	6	65
事業所連携	26	25	34	13	14	4	3	2	3	3	1	3	131
計	110	48	54	43	42	22	12	14	10	9	13	17	394

(3) 療育グループ事業

1) リとるぐるっぶ(就園前G)の状況 *令和4年度利用者は45名。園児への移行は2名。内、入園決定後のグループ移行は2名。

○年齢・男女別

学年齢	0才	1才	2才	3才	小計	総計	
市	男	0	14	19	1	34	45
	女	0	3	7	1	11	
計	0	17	26	2	45		

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	8	10	12	19	19	20	22	23	27	34	36	37

○通園区分(令和3年度利用者)

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	30	名東区	11	守山区	3	北区	1

○主な障害(令和4年度利用者)

障害名	男	女	計
ASD(疑い含む)	11	2	13
ADHD(疑い含む)	1	1	2
アスペルガー	1	0	1
MR	1	1	2
言語発達遅滞	3	1	4
未診断	2	0	2
インテーク済	15	4	19
未受診	2	0	2
計	36	9	45

○療育回数及び出席延人数(2部制での実施)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	3	5	3	0	4	4	4	3	3	3	2	37
延人数	20	21	42	38	0	55	61	74	56	75	70	60	572

○母親グループカウンセリング(コロナのため、中止)

2) 親子教室「ジョイフル」(並行G)の状況

*令和4年度利用者は40名。

○年齢・男女別

学年齢	2才	3才	4才	5才	小計	総計	
市	男	0	13	12	4	29	40
	女	0	6	2	3	11	
計	0	19	14	7	40	40	

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	37	38	38	38	38	39	38	38	37	38	37	37

○通園区分(令和4年度利用者)

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	16	名東区	20	守山区	1	昭和区	2	瑞穂区	1

○主な障害（令和4年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD	12	6	18
ADHD	4	1	5
アスペルガー	1	0	1
言語発達遅滞	6	1	7
軟骨無形成症	0	1	1
低身長・低体重	0	1	1
多動症	1	1	2
正常域	1	0	1
不明	4	0	4
計	29	11	40

○療育回数及び出席延人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	3	5	3	0	4	3	4	3	3	3	2	36
延人数	35	38	55	30	0	46	30	45	23	30	25	27	384

○母親グループカウンセリング（コロナのため、中止）

3) 学童療育の状況

○年齢・男女別

学年		1	2	3	4	5	6	中1	中2	中3	小計	総計
市	男	7	9	5	7	2	3	4		7	44	60
	女	0	2	2	1	3	3	2	1	2	16	
県外	男	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		7	11	9	8	5	6	6	1	9	62	62

○令和4年度新規学童入所 ・名古屋市 8名

○療育(放課後クラブ含む)およびグループカウンセリングの実施状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
療育	回数	4	4	4	3	0	2	2	2	1	4	3	2	31
	人数	41	37	35	25	0	10	21	8	19	26	36	12	270
GC	回数	3	3	3	3	0	3	3	3	3	3	3	3	33
	人数	15	17	18	8	0	14	9	12	9	11	6	9	128
クラブ	回数	7	11	9	10	9	8	12	9	6	8	6	10	105
	人数	26	43	32	32	29	31	42	35	19	30	24	31	374

○学校種別 ・特別支援学級 43名 ・特別支援学校 9名 ・通常学級 9名

○その他 ・療育Gキャンプ、母親の会合宿、中学生合宿 中止 ・学童療育母親学習会 中止

(4) 職員研修及び職員派遣

1) 職員研修

○施設内研修（法人事業報告参照）

○施設外研修 児童発達支援施設現任職員研修会等・東海地区職員研究大会・全国職員研究大会等
 名障連・名古屋市関係：専門研修・基礎研修・中堅職員研修・職種別研修・施設見学等
 施設長研修：福祉協会関係・名古屋市及び社会福祉協議会関係・児童発達支援部会関係等
 （コロナの影響を受けて中止、またはオンラインでの開催等への変更）

2) 職員派遣

○名東保健センター（乳幼児発達相談）：毎月第3水曜日午前／保育士(渡邊友子)派遣

○千種保健センター（親子教室）：毎月第2火曜日午前／心理判定員(平野飛鳥)派遣

○コアラの会（千種区親の会）：毎月第2木曜日午前／相談員(平野飛鳥)派遣

○千種区障害者自立支援連絡協議会定例会及び子ども部会：毎月1回

○名東区障害者自立支援連絡協議会 そだつ部会（児童部会）：毎月1回

○父親のグループ（令和4年度）

クラブヤジオ（会員：約18名／本人年齢：17～23才）

かたつむり（会員：約20名／本人年齢：13～16才）

3. 成人各施設の事業状況

(1) 利用者状況（令和5年3月31日）

1) 日中活動利用者

①年齢層・性別 < () は内65歳以上の利用者>

	年 齢 層						性 別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
べにしだの家	1	4	14	31	12	5(3)	41(1)	26(2)	67(3)
れいんぼうワークス	0	4	10	9	0	0	17	6	23
計	1	8	24	40	12	5(3)	58(1)	32(2)	90(3)

②障害支援区分 < () は内65歳以上の利用者>

	障 害 支 援 区 分						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
べにしだの家	0	2	13(2)	16	36(1)	0	67(3)
れいんぼうワークス	0	0	3	12	8	0	23
計	0	2	16(2)	28	44(1)	0	90(3)

2) 入所・共同生活援助事業利用者

①年齢層・性別 < () は内65歳以上の利用者>

	年 齢 層						性 別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
べにしだの家（施設入所支援）	0	0	3	14	4	4(2)	15	10(2)	25(2)
べにしだ共同生活援助事業所	0	2	10	16	8	3(2)	25(2)	14	39(2)
れいんぼう共同生活援助事業所	0	15	10	14	0	0	21	8	29
計	0	17	23	44	12	7(4)	61(2)	32(2)	93(4)

②障害支援区分 < () は内65歳以上の利用者>

	障 害 支 援 区 分 別						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
べにしだの家（施設入所支援）	0	0	2(1)	7	16(1)	0	25(2)
べにしだ共同生活援助事業所	0	1	13(2)	8	17	0	39(2)
れいんぼう共同生活援助事業所	0	2	7	12	8	0	29
計	0	3	22(3)	27	37	0	93(4)

(2) 月別利用状況

1) 日中活動（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

べにしだの家	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	23	22	22	23	22	23	21	21	21	24	267
生活介護(定員70名)	68	65	68	65	59	63	64	64	65	63	64	65	64

れいんぼうワークス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	23	22	22	23	22	23	21	21	21	24	267
生活介護(定員23名)	20	20	21	21	22	20	22	22	21	21	20	21	20

2) 入所・共同生活援助（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

べにしだの家	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施設入所(定員30名)	22	23	23	23	23	23	23	22	23	23	23	24	23
共同生活援助(定員43名)	33	32	32	32	29	32	32	32	31	31	33	33	31

れいんぼうワークス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員30名)	23	23	24	22	23	24	22	23	21	20	23	23	23

3) 日中一時・短期入所（月毎延べ利用者数）

べにしだの家	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員4名)	29	28	7	27	23	29	27	16	28	24	9	22	269
短期入所(定員2+空床)	75	96	21	79	40	0	0	0	0	0	0	30	311

れいんぼうワークス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	1	1	1	1	0	0	0	1	14	14	3	1	37

(3) 相談支援事業

【べにしだの家】（延べ件数）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	基本相談	80	80	82	79	69	91	73	81	69	66	74	64	908
サービス等利用計画作成		23	3	10	9	7	5	8	7	6	8	8	12	106
モニタリング		16	26	37	34	33	39	14	24	30	32	28	32	345
自立支援協議会参加		1	2	1	1	2	1	1	1	0	1	2	1	14
計		120	111	130	123	111	136	96	113	105	107	112	109	1373

(4) 作業実績

1) 作業室別・業者別売上

* () 内は前年度増減比 / (単位：円)

【べにしだの家】内部取引含む

第1作業室／クリーニング・自動車部品検査		第2作業室／自動車部品検査		第3作業室／自動車部品組付		ゆう作業室 心身機能の維持 増進
業者	売上	業者	売上	業者	売上	
クリーニング(一般他)	793,216	そうぎょう	511,292	三好化工	156,530	
ケイアイ加工	1,494					
794,710(+57,142)		511,292(-116,342)		156,530(-5,665)		
あらい作業室／箱折り・自動車部品検査		あらくさ作業室／製パン・自動車部品検査等		その他		合計
業者	売上	業者	売上	業者	売上	5,357,934 (+673,524)
岩田紙器	163,831	製パン	2,692,595	一般	1,330	
そうぎょう	175,944	その他作業	551,821	自主製品販売	136,869	
ケイアイ加工	87,799	さおり・雑貨販売	73,213			
T&M	12,000					
439,574(-70,315)		3,317,629(+715,200)		138,199(+93,504)		

【れいんぼうワークス】内部取引含む

部品等の組付・検品作業 刺繍製品等自主製品		農作物生産.販売		合計
業者	売上	業者	売上	1,580,150
そうぎょう	615,014	マザーキッチン	0	
服部	53,399	団体	192,120	
その他受注作業	19,800	その他一般	246,575	

加賀悦商店・宮崎	19,360	法人内事業所	59,077	(-316,170)
その他リサイクル	1,108	仕入れ販売	108,450	
刺繍製品	91,100	その他	0	
ダンボール製品	700			
Tシャツ他	17,940			
その他製品	155,507			
	973,928(-17,376)		606,222(-298,794)	

2) 工賃 ※年額には、年2回の賞与が含まれている。

	べにしだの家	れいんぼうワークス
令和4年度工賃支給総額	1,532,620	1,068,410
1人あたり支給月額 ()内前年比	1,878 (-50)	3,871(+61)
最高支給月額	7,200	5,110
〃 年額	90,600	58,190
最低支給月額 〃	156	2,000
〃 年額	2,844	27,730

(5) 各施設活動状況

べにしだの家

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
4月	27日：利用者健康診
5月	
6月	18日：自立をすすめる会
7月	
8月	12～15日：夏季休暇 20日：合同きょうだい会 27日：らいぶ游
9月	
10月	26日：利用者健康診断
11月	
12月	28日：御用納め 29～31日：年末休暇
1月	1～3日：年始休暇 4日：仕事始め 14日：自立をすすめる会
2月	4日：べにしだきょうだい会
3月	

※コロナの影響により、今年度も行事開催は一部中止、制約を余儀なくされた。

2) 健康管理

- * 血圧・体重測定 (看護師) / 随時
- * 健康相談 (村上医院) / 毎月1回
- * インフルエンザ予防接種 (村上医院) ・コロナワクチン接種 (大菅病院) / 2回希望者接種
- * 健康診断 (名古屋公衆医学研究所) / 入所年2回・通所年1回 (あらくさ作業室は別途実施)
- * 訪問歯科診療 (えびす歯科) / 毎週木曜日
- * PT 訪問 (たわだりハビリクリニック・リハプロ訪問看護ステーション等)

3) 生活実習 (プレホーム体験) ※R4年度は実施なし

4) 家族との連携

- a. 家族会 ※コロナ予防に留意しながら集合して毎月開催。
- b. 家族懇談会 ※グループ別に5回開催。
- c. バザー活動 ※中止

- d. 清掃当番活動 ※中止
- e. 自立をすすめる会 ※2回開催
- f. 母親懇親会 ※中止
- g. きょうだい会 ※あさみどりグループ全体で1回（オンライン）、べにしだ単独で1回開催。
- h. 特定非営利活動法人「蒼の会」との情報交換 ※定例会議、学習会を開催。

5) 職員の活動

- a. 各種会議 ※①以外はコロナの影響により縮小、中止の場合あり
 - ①毎日始業前の朝会（夜間の申し送り、一日の予定確認、指示事項等）
 - ②生活棟会議（南・北棟別に月1回開催）
 - ③作業室会議（月1回各作業室のケース、作業状況の情報交換、課題整理）
 - ④ホーム担当者会議（各ホームの情報交換、課題整理）
 - ⑤リーダー会議（毎月1回、各部署のリーダーで総体的な情報共有、課題検討、調整）
 - ⑥虐待防止委員会（年3回ヒヤリハット・事故・不適切対応報告書の整理と虐待防止意識の共有）
 - ⑦ホームスタッフ会議及び本体スタッフ会議（毎月1回、決定事項の確認、伝達、情報交換、ケース検討等）
 - ⑧給食会議（毎月1回、委託業者との情報交換、課題検討、調整）
- b. 法人主催で行われる職員全体研修、経験年数別研修、ケースカンファレンスに参加
- c. 施設内研修（6、12月：有期契約職員研修 4月：新人世話人研修）
- d. 施設外研修 ※オンラインで開催されたものを選定して参加。

6) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

- a. ボランティアの受け入れ状況（コロナ禍の中ボランティアの受け入れを中止）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
べにしだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あらくさ	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	1	7

b. 実習・見学

(延べ人数)

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学・専門学校社会人等実習		34	11	0	67	30	82	33	40	33	29	35	39	433
見学者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計													433

※体験実習校・施設…同朋大学、日本福祉大学、岡崎女子大学、岡崎女子短大、東京福祉大学
東海医療科学専門学校、等

c. 地域交流等

- ①らいぶ・ゆう ※新型コロナの影響で全てライブ動画の配信とした。

参加者種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害児・者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出演者スタッフ		0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	17
参加者計		0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	17

- ②中村区民祭 ※10/22（職員1名運営で参加）
- ③中村区新庁舎移転記念ユニバーサルスポーツフェスタ ※1/15（職員2名、利用者1名参加）
- ④中村区地域福祉講演会 ※1/24（職員2名参加）

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応(ホーム加える)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	2	1	2	0	0	0	2	1	1	2	0	11
転倒・転落・衝突	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	1	9
自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他害・物損	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
放置	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴室内の危険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
計	0	4	1	3	0	3	0	3	4	3	5	1	27

※ 服薬関連は例年同様突出して多い傾向にある。二重チェック、マニュアル等々などの対策を取っているが、うっかりが多く、職員同士が声をかけ合う状況も希薄であるため、職員同士のコミュニケーションを高めるような根本的な取り組みの必要性を感じる。

れいんぼうワークス

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	
6月	みんなのれいんぼう祭、自立の会、山の家合宿(1泊2日)①②
7月	山の家合宿③中止
8月	家族交流会中止 12～15日：夏期休暇
10月	
11月	一泊旅行(ホームⅣのみ) ホーム見学会 17日：クリスマス会 18日：れいんぼう・虹連絡協議会 28日：御用納め
12月	一泊旅行(ホームⅣのみ) ホーム見学会 17日：クリスマス会 18日：れいんぼう・虹連絡協議会 28日：御用納め
1月	4日：仕事始め
2月	いちご狩り
3月	ホーム見学会

2) 健康管理

- *健康チェック(看護師/毎日：体温・体重測定記録の確認及び健康相談)
- *健康診断(年1回)
- *予防接種(加賀医院/インフルエンザ希望者接種、新型コロナワクチン接種第1回目、第2回目)
- *ブラッシング指導…今年度再会

3) 家族との連携

- a. 保護者会および研修：保護者会は毎月1日の開催予定で、入れ替わり制の2部制とした。学習会は中止とした。ホーム懇談会は個別懇談を11月～翌年1月で実施した。
- b. 個別相談：随時
- c. 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、れいんぼう祭のバザー出品のために手作品を製作して施設運営の援助をしていたが、今年度は中止。
- d. 自立の会：主に父親同士が集まる活動を通じて、父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。(今年度は6月・12月に会食なしで実施)
*12月に名称をれいんぼう・虹連絡協議会に変更。

4) 職員の活動

- a. 施設内においては、①毎日作業終了後の打合会、②随時行うケース会議、③運営方針の確認・行

事計画・事業執行などを協議する職員会議（月1回）④個別支援計画・モニタリング作成のアセスメントおよび計画策定会議を実施した。

- b. 法人主催で行われる職員全体研修、新人研修、ケースカンファレンスに参加した。
- c. 施設内研修として、横浜やまびこの里の小林信篤先生による、年間3回の事例検討研修を行った。第1回はオンライン、第2回・3回はリアルで実施。
- d. 知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
野澤ゼミ（7月以降全7回：1名）
東海地区施設長等研究協議会（10月：1名）

5) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

今年度はコロナ禍の影響もあったが社会福祉士実習では2名の受け入れをし、介護等体験実習も再開された。また『musubun』経由で、学生ボランティアに実際にれいんぼうの利用者さんと交流する機会を設け、繰り返し参加して下さる学生と繋がる事ができた。地域との交流については、さつまいもプロジェクトと称してさつまいもの苗植え体験を小学生が行い、高校生が教えるというイベントを津島市の地域コミュニティと共同で行う事ができた。

また、地域の企業や他事業所等と農福連携の会議を月1回おこなってきた。

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1	0	88	1	5	0	0	57	4	0	2	0	158

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高校生体験学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	17	21	50	10	0	0	0	98
見学者	2	2	0	7	0	6	0	0	8	1	1	12	39

※実習校・・・日本福祉大学、椋山女学園大学、名古屋学芸大学

- c. イベントの開催 れいんぼう祭は昨年に続いて、事業所内での祭として開催した。「みんなのれいんぼう祭」として、利用者の方々の意見を取り入れた内容とし、多くのボランティアの学生を受け入れた。

6) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	4
他害・物損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転倒・転落・衝突	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他不適切対応	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
計	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	1	7

※生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。

※今年度については、服薬についてはホームにいつもと違うスタッフが入り服薬の確認不足というミスであったため、ホームでは誰が支援に入ってもわかりやすい仕組みをとることと、支援に入った者には服薬確認を徹底するようお願いした。2月には有期契約職員による性的な虐待事案が発生し、全スタッフに周知。虐待防止アンケートを行い、その時点で研修が未実施であった有期契約職員に対し、虐待防止研修を行った。